

“できない”を、 “一緒にできる”へ。

学校や地域で聞こえてくる、ちょっと厳しい声。

その言葉の奥には、その人なりの
「心配」「責任感」「願い」があります。
「カベトーク！」は、障壁カードを使って
相手の立場や思いを読み解き、
「どうすれば一緒にできる？」を
みんなで考える対話型研修です。
あなたの地域にある“カベ”も、
対話のきっかけに変えてみませんか？

学校 × 家庭 × 地域をつなぐ
45分の対話型研修パッケージ

カベトーク！

～障壁カードで磨く「つなぐ翻訳術」～

その壁、 どう訳す？

「これ以上、仕事を増やせません。」

「また学校のお手伝いですか・・・。」

「前例もないですし・・・。」

他にも、学校・家庭・地域・行政の
リアルな「カベ」全10種類！

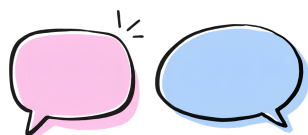
1 選ぶ

自分たちの活動や地域に
立ちはだかりそうな「カベ」
を選ぶ。



2 訳す

その言葉の奥にある「心配」
「責任感」「願い」を読み解き、
一緒にできる方法を考える。



3 話す

カードの人物になりきって
いざ壁打ち！
考えた「翻訳術」が相手に
届くか試してみる。



「誰が正しい？」ではなく、
「子どもたちのために、
どうすれば一緒にできる？」へ！

やってみると

見方が変わる

(研修参加者の声)

反対意見だと思って
いたことも、その人
の立場から考えるこ
とで見え方がガラッ
と変わりました。

地域学校協働活動
推進員



こんなときに、カベトーク！

- ☒ 学校運営協議会の熟議に
- ☒ 地域学校協働活動の振り返り・見直しに
- ☒ 学校・地域・保護者との関係づくりに
- ☒ 新しい取組を始める前の作戦会議に

新しい活動を考えるだけでなく、
今ある活動や関わり方を“子どもをまんやかに”
見直すきっかけにも。



約45分

熟議や研修の
1コマで使える



対話が深まる
カードがあるから
立場の違いも
話しやすい



進行台本付き

初めてでも
進めやすい

「カベ」が見えたら対話のチャンス。

カベトーク！あなたの地域でもやってみませんか？

岡山県生涯学習センター

研修パッケージはホームページから無料ダウンロード

☒ 障壁カード10種類 ☒ ワークシート ☒ 進行資料 ☒ 投影スライド

